

第4次倉吉市行財政改革計画の取組状況

～令和6年度の主な取組と実施目標の達成状況～

「第4次倉吉市行財政改革計画」では、令和5年度から令和9年度を計画期間とし、3つの重点項目として「DXの推進による利便性の向上と業務の効率化」、「サービスを低下させない働き方改革の推進」、「公共施設の最適化」を掲げ、改革を進めていくこととしています。

次のとおり、令和6年度の主な取組と実施目標の達成状況をまとめました。

1. 重点項目の令和6年度の主な取組

※別添『R6 行革取組一覧表』（P.9～24）のとおりに

2. 実施目標の達成状況

評価 ◎…順調 ○…目標達成に向けて着実に推移 △…さらなる取組が必要 ×…目標達成は難しい

①DXの推進による業務改革

行政手続のスマート化	〔最終年度目標値:スマート化率 70%〕		評価: ○
オンライン化済行政手続			
全行政手続 664 件のうちオンライン化実施済みの手続(国等のシステムでのオンライン化も含む)。			
	R 4	R 5	R 6
	64 件	74 件	140 件
	9.7%	11.1%	21.1%
とっとり電子申請の手続数			
とっとり電子申請…とっとり電子インターネットを通じて鳥取県又は県内市町村への申請・届出の手続を行うもの。			
	R 4	R 5	R 6
	36 件	95 件	245 件
■ 令和4年度(第4次策定前)での実績、状況、課題など ➤ 全行政手続棚卸調査 ※令和5年6月実施 各手続の特性(取り扱う情報や添付書類、手数料納付の有無、押印や本人確認の必要性、オンライン			

化に当たっての課題等)が不明なため、実態調査を実施。

- 市民課において、事前申請システム・申請書作成支援システムを導入システムの本格運用にむけて体制の整備等が必要。

■ 令和5年度の実績状況

＜住民目線、職員目線での達成状況(数値外の意見など)＞

- 実際にイベントの申込みをオンライン化した部署では、「電話対応の時間が減少した」等の声があった。

＜主な取組＞

- 倉吉市署名押印廃止方針策定
署名押印廃止率 80.3% ※書類全体の率(市作成、相手作成の合算)

■ 令和6年度の実績状況

＜住民目線、職員目線での達成状況(数値外の意見など)＞

- 【倉吉市公式 LINE】「ごみ収集日通知」、「いつでも問い合わせ」、「受信情報が選択可能」、「防災無線テキスト受信」が好評。
- 【とっとり電子申請】LINE から利用することができて便利だった。

＜主な取組＞

- 市報他住民向け配布物のデジタル化推進
- 開栓届等オンライン化
- 公共施設予約システム導入
- 観光駐車場混雑状況把握システム導入
- 防災放送アプリ導入

■ 令和7年度以降の実績予定

- BPR(業務改革、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)やシステムの機能追加可能な手続は速やかにオンライン化する。BPR やシステムの機能追加で検討すべき論点があるものは課題を整理し、オンライン化の可否を決定する。
- オンライン化の実施効果(住民の利便性向上、内部事務の効率化)を確認効果の低い手続の見直し(オンライン申請様式の改善、オンライン化の廃止を含む)を行う。
- マイナンバーカードを図書館利用者カードとしての活用
- デジタル商品券の発行
市内指定店舗で利用可能なデジタル商品券に 20%のプレミアムを付加
- 路線バスのキャッシュレス決済(ICOCA)対応 ※R8 春頃予定

ペーパーレス化	〔最終年度目標値:紙の削減率 20%〕	評価: ◎									
<p>用紙購入枚数</p> <p>市役所全体の用紙購入枚数。</p> <table border="1" data-bbox="209 304 778 488"> <thead> <tr> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,021 千枚</td> <td>4,841 千枚</td> <td>4,528 千枚</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>△19.6%</td> <td>△ 24.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※削減率は令和4年度を基準とする。</p>			R 4	R 5	R 6	6,021 千枚	4,841 千枚	4,528 千枚	—	△19.6%	△ 24.8%
R 4	R 5	R 6									
6,021 千枚	4,841 千枚	4,528 千枚									
—	△19.6%	△ 24.8%									
<p>電子決裁率(平均)</p> <table border="1" data-bbox="209 607 778 723"> <thead> <tr> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.0%</td> <td>80.0%</td> <td>85.3%</td> </tr> </tbody> </table>			R 4	R 5	R 6	37.0%	80.0%	85.3%			
R 4	R 5	R 6									
37.0%	80.0%	85.3%									
<p>事務処理系ノートパソコンの増設</p> <p>デスクトップ型から段階的にノート型へ移行。</p> <table border="1" data-bbox="209 846 588 963"> <thead> <tr> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47.4%</td> <td>80.4%</td> </tr> </tbody> </table>			R 5	R 6	47.4%	80.4%					
R 5	R 6										
47.4%	80.4%										
<p>■ 令和4年度(第4次策定前)での実績、状況、課題など</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 電子決裁率(平均)が 37.0%と低調。 											
<p>■ 令和5年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 会議等にパソコンを持ち込む場面が増えてきた。 ➢ 電子決裁の利用が定着してきた。 <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 押印廃止方針策定 電子決裁による処理の方が効率的な文書と引き続き紙で処理した方が効率的な文書との整理・明確化。 											
<p>■ 令和6年度の取組状況</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 決裁者用端末等の準備について検討 行政委員会、議会事務局、農業委員会は決裁者が外部の人のため。 											
<p>■ 令和7年度以降の取組予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 事務処理系ノートパソコンの増設 ➢ ビジネスチャットツールによる出先・外部機関等との情報共有の推進 ➢ 財務会計システムの電子決裁導入に向けた検討 											

②働き方改革の定着

働き方満足度	〔最終年度目標値:まあまあ満足・満足している割合 80%〕	評価: ○
時間外・休日勤務時間数(職員1人当たり平均)		
R 4	R 5	R 6
102 時間	108 時間	95 時間
年次有給休暇取得日数(職員1人当たり平均)		
R 4	R 5	R 6
14.1 日	15.7 日	15.3 日
男性の育児休暇取得率		
厚生労働省が定める算出方法:育児休業等を取得した男性労働者数÷配偶者が出産した男性労働者数		
R 4	R 5	R 6
43.8%	72.7% ※	33.3%
※令和5年度は年度内に2回目の育児休業等を取得した職員があり、実人数ベースで算出した場合の率は63.6%となる。		
職員の分限処分者数(心身の故障(休職))		
R 4	R 5	R 6
10 人	12 人	11 人
<p>■ 令和4年度(第4次策定前)での実績、状況、課題など</p> <p>➢ 職員の働き方満足度を把握するための調査は未実施。</p>		
<p>■ 令和5年度 of 取組状況</p> <p><住民目線、職員目線での達成状況(数値外の意見など)></p> <p>➢ 令和5年8月に実施した特定事業主行動計画にかかるアンケートでは、時間外勤務や休暇取得に対して、意識改革だけでは進まないという意見があり、事業の削減の推進、職員の増員を望む意見も多かった。</p> <p><主な取組></p> <p>➢ 市長・副市長とはなししよいや(市役所若手職員編)</p> <p>入庁10年程度までの倉吉市職員(主事・主任級)24名と市長と副市長対話。今後の施策展開の参考やより良い職場環づくりに向け、率直かつ様々な意見を聞くことができた。</p>		
<p>■ 令和6年度 of 取組状況</p> <p><主な取組></p> <p>➢ 組織の改廃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財課を市長部局へ移管 <p>市内にある貴重な文化財を地域・観光振興の核と位置づけ、今まで以上に地域づくり・観光まちづくりに積極的に生かしていく検討を進めるため、教育委員会事務局が所管している文化財課を市長部局へ移</p>		

管し、経済観光部に文化財課を設置した。

・ねんりんピックなどのイベントに対応

職員配置を見直し、観光交流課の増員を行った。

- 実証実験中の自治体テレワークシステムの本稼働に向けて、先行自治体の例を参考に、本市に合った制度の検討、研究を行う。
- 人事評価システム導入
業務の効率化を図るとともに、公平性や透明性、客観性の高い評価の実施。また、個々の職員の経歴等をシステムで一元的に管理し、それらの情報を的確かつ迅速に昇給や昇任、人事配置等に活用することを通じ、人材育成や能力開発に繋げる。これにより職員のやりがいの創出や満足度の向上、また市民サービスを低下させない働き方や組織風土の醸成へ繋がることを期待できる。
- 職員満足度調査の実施
本実施目標値の指標となるもので、令和7年1月に実施。今後年次で調査を実施し、分析結果をもとに職場環境の改善やモチベーションの向上へつなげる。
- ハラスメント防止条例の制定
市の職場からハラスメントをなくすことで職場環境をよりよくするため、職員、指定管理及び業務委託等の市に関係する事業に従事する人が、ほかの職員や市長等の特別職または議員等からハラスメントを受けた場合、市に申し出ることができるよう定めた。

■ 令和7年度以降の取組予定

- 管理職員のマネジメント能力の向上のための研修を実施。
- 各所属への聞き取り等により適正な人員把握、人員配置を行う。
- フレックスタイム導入に向け、先行自治体の例を参考に、本市に合った制度の検討、研究を行う。
- 特定事業主行動計画のアンケートや職員満足度調査から課題を把握し、必要に応じて、職員一人ひとりの意識改革を促す啓発活動や、RPA(ロボット技術を活用した業務自動化)やAI技術の導入による業務効率化、業務の改廃や委託等の検討を行う。
- 業務効率化に向けた先進的取組(RPA)を行っている自治体の例の研究を行う。

③公共施設の適正配置

公共施設等個別施設計画の着実な実施	〔削減額 4.4 億円/年〕	評価：◎				
<p>施設の廃止による削減効果額</p> <p>将来に渡って市が 40 年間維持していく場合における費用の削減効果額。</p> <table border="1" data-bbox="197 416 579 533"> <thead> <tr> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.83 億円</td> <td>6.22 億円</td> </tr> </tbody> </table>			R 5	R 6	3.83 億円	6.22 億円
R 5	R 6					
3.83 億円	6.22 億円					
<p>■ 令和4年度(第4次策定前)での実績、状況、課題など</p> <p>➤ 庁内全体の公共施設マネジメントや施設長寿命化手法が、関係課との調整不足等によりうまく定まらず、計画の進捗管理ができていなかった。</p>						
<p>■ 令和5年度 of 取組状況</p> <p>＜住民目線、職員目線での達成状況(数値外の意見など)＞</p> <p>➤ 市営住宅・保育園の統合等にあたっては、適切な時期の説明や、住民との合意形成の手法に改善の余地があった。</p> <p>＜主な取組＞</p> <p>➤ 個別施設計画に基づく施設の廃止(転用・集約・複合化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉吉西保育園の廃止 ・ 上井保育園の民営化 ・ ふるさと物産館の無償譲渡 						
<p>■ 令和6年度 of 取組状況</p> <p>＜主な取組＞</p> <p>➤ 個別施設計画に基づく施設の廃止(転用・集約・複合化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易宿泊施設「湯楽里」の廃止 <p>➤ 公共施設の用途廃止に伴う標準的な事務手続策定</p> <p>個別施設計画で示している公共施設ごとの適正配置に関する方向性の検討結果に基づき、全庁的な取組を推進していくための指針を策定。施設所管課において、施設の規模、性質、地域性等を十分に考慮した上で、住民や利用者に今後の方向性をオープンにしていく。</p> <p>➤ 公共施設等の LED 照明の切替状況調査実施</p> <p>一般照明用蛍光灯の製造・輸出入が令和 9 年までに段階的に廃止されることに伴い、各施設の LED 照明の切替状況について全庁的な調査を実施し、今後、未済施設の年次更新を行っていく。</p>						

■ 令和7年度以降の取組予定

- 庁内全体の公共施設マネジメント、個別施設計画の進捗管理
個別施設計画に基づく長寿命化改修方針について、施設所管課に周知徹底する。
庁内関係課と横断的に連携し、俯瞰的なマネジメントを実施する。
- 今後の公共施設等廃止予定一覧

年度	施設数
R 7	1
R 8	7
R 9	6
R10	4
R11	2
R12	10

3. 総評

「DXの推進による業務改革」については、行政手続のスマート化の数値的な目標達成に向け事業の推進が図られており、概ね計画的に事業の取組がなされていると評価できる。新たな課題が発生した際には、DXの手法による解決を常に検討していく必要がある。また、ペーパーレス化については目標値を上回る成果をあげており、行政手続のスマート化をより一層推進していくことでさらなる成果が期待できる。

「働き方改革の定着」については、令和5年度と比較し、年次有給休暇取得日数はほぼ横這いであるが、時間外勤務時間数が減少しており、働き方改革が一定程度推進できたと評価できる。令和7年1月に実施した職員満足度調査の結果をもとに実態の把握を行い、働き方改革に関する年次計画を立て実施していくことで、働き方の満足度の向上を図っていく必要がある。

「公共施設の適正配置」については、目標数値を達成しており、概ね「公共施設の適正配置」は推進できているものと評価できる。令和6年度においては、個別施設計画で示している公共施設ごとの適正配置に関する方向性の検討結果に基づき、全庁的な取組を推進するための指針を策定したため、今後の施設数・規模の最適化へ繋げていく。個別施設計画に基づく長寿命化改修方針については、計画的かつ確実に実施できるよう全庁的な取組を進めていく必要がある。

財政状況については、令和5年度から令和6年度にかけて大型の普通建設事業を行っており、その財源を地方債の発行と基金の大幅な取崩により賅っている。今後、地方債の償還が始まると、近年の物価高騰に伴う経費の値上げとともに、人件費や扶助費等の義務的経費を筆頭とした経常経費が増大することが見込まれるため、中長期的には厳しい財政運営になることが予想される。実施目標の「財政調整基金と減債基金の計画最終年度末の合計残高で20億円の確保」を確実に達成できるよう、実質収支の黒字の堅持や適正な市債残高の維持を図り、健全な財政運営を引き続き行っていく。

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	R6取組内容	取組に対する市民の声(反応)	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
1	高齢者のためのスマホ教室	ソフトバンクの講師によるスマホ教室を1回開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホの機能を使うことができてよかった。 ・詐欺が怖くてなかなか使えない。 	情報政策課	0	0
2	その他研修参加の呼びかけ	「自治体DX推進セミナー」「自治体業務改革(BPR)セミナー」「情報セキュリティ研修(=全職員対象)」の実施。		情報政策課	0	0
3	自治体基幹業務等システムの標準化・共通化	RFIを実施 標準化の作業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク運用補助 ・庁内ネットワーク設定変更 ・選挙・戸籍・戸籍附票移行作業 		情報政策課	128,630	6,423
4	公式LINEを利用した住民サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード更新予約サービス開始 ・電子申請サービスのLINE連携(ID・パスワードを意識しない申請等が可能になった) 【R5から継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・受信したい情報種類の選択機能(興味があるジャンルの登録) ・ごみ分別検索(チャット形式) ・ごみ収集日通知(地域等の事前設定により収集前日に通知、通知時間を追加) ・基本メニュー「ごみ出し」項目を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集日通知が好評。 ・その他、「受信情報が選択可能」「防災無線がテキストで届く」等が好評。 ・もっと生活の情報がほしいとの要望も。 ・「ごみの日リマインダー」を多くの方に利用していただいている。 ・通知時間の追加の要望もいただいた。 	情報政策課 企画課	0	0
5	スマート農業社会実装促進事業	高齢化等による担い手の減少が急速に進んでおり、持続可能な農業を実現するためには、省力化技術の開発・導入が喫緊の課題となっていることから、スマート農業技術について導入にかかる費用を支援し、現場における普及拡大を図る。 申請件数 6件 <ul style="list-style-type: none"> ・GPS付きトラクタ(自動操舵) 2件 ・GPS付きコンバイン自動操舵) 1件 ・ハウス自動開閉装置 2件 ・薬剤散布用ドローン 1件 		農林課	18,060	14,761

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	R6取組内容	取組に対する市民の声(反応)	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
6	統合型GIS	令和7年度調達を目標に県内自治体と仕様等の調整を実施。		情報政策課	0	0
7	マイナンバーカードの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの出張申請受付(個人宅等)実施 ・休日・時間外交付窓口開設 ・マイナンバーカード利用促進のための働きかけ(図書館利用者カードとしての活用) ・戸籍証明書のコンビニ交付サービスの開始 	申請出来ない方への自宅を訪問して申請を行い、反応は良好であった。	市民課	862	132
8	生成AIの調査	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AI(ChatGPT等)の職員向け環境整備方法等の検討 ・セキュリティを確保(入力内容を学習させないなど)した利用環境の整備 ・ガイドライン作成準備、職員研修会の実施 ・ChatGPT以外の生成AIについて調査を実施 		情報政策課	0	0
9	ぴったりサービス(マイナポータルの電子申請機能)を使ったオンライン申請	<ul style="list-style-type: none"> ・国が運営するマイナンバーカードの利用を前提とした「ぴったりサービス」を基本に各種手続のオンライン化・キャッシュレス化を推進 ・戸籍謄本、住民票の写し等各種証明書の電子申請受付の開始 ・スマホやPC等を利用して申請が可能となった。 	24時間365日いつでもどこからでも利用でき、郵送請求したり窓口に行く手間も省け、早くて便利であるとの意見が寄せられた。	市民課 税務課	296	17
10	商店街DX化推進事業	<p>【R5から繰越】</p> <p>地域内での消費活動を活性化させるとともに、DXを推進するもの(市内指定店舗でのスマホ決済利用に20%のプレミアムポイント付加)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月25日～10月31日にキャンペーンを実施 ・6月に住民向け導入説明会を2回開催 ・従来の紙で発行していたクーポンに比べて、事務負担が格段に減少した。 ・対象店舗におけるキャッシュレス決済の導入により、現金の取り扱いコスト等が減少したことが推察される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お得に買い物ができる。 ・このキャンペーンを機にキャッシュレス決済を初めて行った。 ・スマホを持たない市民に対して不公平ではないか。 	しごと定住促進課	58,493	43,443
11	Web口座振替受付サービス	PCやスマホで口座振替依頼が申請できるようになった。 (合銀、鳥銀)令和6年4月からサービス開始		税務課 会計課	0	0
12	共創モデル実証プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・AI配車システムを活用した予約型乗合タクシーの実証運行 ・関金地区をモデルとし、既存のバス路線の再編と予約型乗合タクシーの導入等を行いながら、関係団体との共創によりエネルギーや地域内拠点と連携した持続可能な運行体制を構築するため、10月1日から実証運行を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や知人に送迎を頼まなくても良くなった。 ・気軽に外出できるようになった。 ・将来の移動手段に対する不安が減った。 <p>※登録者アンケートの上位3位</p>	企画課	73,588	69,192

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	R6取組内容	取組に対する市民の声(反応)	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
13	市報他住民向け配布物のデジタル化推進	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市自治公民会連合会からの要望に対し、市報等配布文書のペーパーレス化等の検討を開始。※検討体制(自治連会長副会長、コミュニティセンター、情報政策課、地域づくり支援課) 全戸配布の広報誌等のリンク集ページを作成し、11月からLINEメッセージによる通知を開始。 		情報政策課 地域づくり支援課	0	0
14	公共施設予約システム	<ul style="list-style-type: none"> 住民の利便性向上を図るため、公共施設予約システムを導入各指定管理者等との調整。 オンライン決済への対応。 鳥取県、鳥取市、米子市と共同で利用するシステム(とっとり施設予約サービス)を導入し、10月から運用開始。 		情報政策課	10,541	8,965
15	開栓届等オンライン化	<ul style="list-style-type: none"> 窓口委託事業者のインフラ整備により、10月から開栓届等をオンライン化(申請:380件) インターネット、LINEアカウントでの届出が可能となり、使用者の利便性が向上 これまで紙媒体で受け付けていたデータが一部電子化され、システム入力業務の効率化が図られた。 		業務課	167	167
16	とっとり電子申請システムの機能拡張	<ul style="list-style-type: none"> LINE連携機能の導入(メールアドレスによるログインが不要となり、申請が容易になった) 主要窓口へのタブレットを8台設置(簡易的な書かない窓口・職員による申請サポート) 	LINEから利用することができて便利だった。	情報政策課	2,200	2,179
17	ノーコードツール	<ul style="list-style-type: none"> 予算説明シート作成など、内部照会業務等の効率化を図る。 ノーコードツールを導入し、投票所の投票状況の報告で利用。 		情報政策課	501	636
18	窓口キャッシュレス決済	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年1月開始 証明手数料等の支払いにクレジットカード、電子マネー、QRコード決済の利用が可能となった。 		税務課 博物館	155	128
19	観光駐車場混雑状況把握システム	<ul style="list-style-type: none"> 観光駐車場の混雑状況をWeb上(ここいこマップ)で確認するシステムを導入し、令和7年3月から仮運用を開始し、令和7年3月30日より本格運用 対象駐車場は4箇所(宮川町観光駐車場、鍛冶町観光駐車場、倉吉市役所第1観光駐車場、倉吉市役所第2観光駐車場) 既存の複数の公共駐車場の空き情報を共有することで、混雑を解消し負荷を分散することにより、利用が集中する地域での駐車場の敷地造成を抑制した。 		観光交流課	18,706	20,325

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	R6取組内容	取組に対する市民の声(反応)	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
20	学校徴収金システム	<ul style="list-style-type: none"> これまで現金で集金していた学校で使用する教材費や校外活動経費などについて、口座振替による集金(一部コンビニエンスストア払いやスマホ決済に対応)に変更し、保護者の利便性向上と教職員の負担軽減を図る。 令和6年度中に導入作業(事業者の公募・導入に係る手続き)を行い、令和7年度運用開始 		学校教育課	1,980	0
21	ビジネスチャットツール	<ul style="list-style-type: none"> 出先や外部団体等との情報共有の効率化、意思決定のスピード向上のため、ビジネスチャットツールを導入 スモールスタートで導入し、効果を検証 		情報政策課	396	231
22	クラウド型被災者支援システム	<ul style="list-style-type: none"> J-LISに利用申込み申請を行い、システムの運用開始 ※災害発生時の罹災証明書の受取がコンビニでもできるようになることから、窓口対応の職員減が期待できる。 		防災安全課	371	0
23	戸籍コンビニ交付サービス	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードを活用し、全国のコンビニで既に可能となっている住民票の写し及び印鑑登録証明書の取得と同じように、戸籍証明書の取得を開始した(令和7年3月)。 窓口よりも手数料が安く、早朝・夜間・休日でも取得が可能で、市役所まで行く時間や窓口での待ち時間がなく、また申請書を書く手間が不要となり、住民の利便性向上につながった。 		市民課	15,378	14,133
24	防災放送アプリ	<ul style="list-style-type: none"> 市が放送する防災行政無線放送、コミュニティセンター・自治公民館が行うコミュニティ放送をスマートフォンのアプリで受信・確認が可能となった。 		防災安全課	44,706	44,605

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	①行政手続きのオンライン化・窓口手続きのスマート化の推進	②地域社会のDX(公共交通、農業、産業分野等)	③マイナンバーカードの普及促進と利活用	④セキュリティ対策の徹底	⑤デジタルデバインド(情報格差)対策	⑥BPR(業務プロセスの抜本的な見直し)の取組の徹底	⑦自治体情報システムの標準化・共通化	⑧デジタル人材の確保及び育成・学び直し	⑨AI、RPAの導入・利用促進	⑩オープンデータの整備とデータ利活用の推進	⑪その他(総合的なもの、左記に属さない取組等)
1	高齢者のためのスマホ教室	○				○						
2	その他研修参加の呼びかけ				○				○			
3	自治体基幹業務等システムの標準化・共通化						○	○				
4	公式LINEを利用した住民サービス	○										
5	スマート農業社会実装促進事業		○									

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	①行政手続きのオンライン化・窓口手続きのスマート化の推進	②地域社会のDX(公共交通、農業、産業分野等)	③マイナンバーカードの普及促進と利活用	④セキュリティ対策の徹底	⑤デジタルデバイド(情報格差)対策	⑥BPR(業務プロセスの抜本的な見直し)の取組の徹底	⑦自治体情報システムの標準化・共通化	⑧デジタル人材の確保及び育成・学び直し	⑨AI、RPAの導入・利用促進	⑩オープンデータの整備とデータ利活用の推進	⑪その他(総合的なもの、左記に属さない取組等)
6	統合型GIS										○	
7	マイナンバーカードの普及促進			○								
8	生成AIの調査								○			
9	ぴったりサービス(マイナポータルの電子申請機能)を使ったオンライン申請	○		○								
10	商店街DX化推進事業		○									
11	Web口座振替受付サービス	○										
12	共創モデル実証プロジェクト		○									

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	①行政手続きのオンライン化・窓口手続きのスマート化の推進	②地域社会のDX(公共交通、農業、産業分野等)	③マイナンバーカードの普及促進と利活用	④セキュリティ対策の徹底	⑤デジタルデバイド(情報格差)対策	⑥BPR(業務プロセスの抜本的な見直し)の取組の徹底	⑦自治体情報システムの標準化・共通化	⑧デジタル人材の確保及び育成・学び直し	⑨AI、RPAの導入・利用促進	⑩オープンデータの整備とデータ利活用の推進	⑪その他(総合的なもの、左記に属さない取組等)
13	市報他住民向け配布物のデジタル化推進		○									
14	公共施設予約システム	○										
15	開栓届等オンライン化	○										
16	とっとり電子申請システムの機能拡張	○										
17	ノーコードツール											○
18	窓口キャッシュレス決済	○										
19	観光駐車場混雑状況把握システム		○									

R6行革取組一覧表

重点項目1:DXの推進による利便性の向上と業務の効率化

No.	取組名	①行政手続きのオンライン化・窓口手続きのスマート化の推進	②地域社会のDX(公共交通、農業、産業分野等)	③マイナンバーカードの普及促進と利活用	④セキュリティ対策の徹底	⑤デジタルデバイド(情報格差)対策	⑥BPR(業務プロセスの抜本的な見直し)の取組の徹底	⑦自治体情報システムの標準化・共通化	⑧デジタル人材の確保及び育成・学び直し	⑨AI、RPAの導入・利用促進	⑩オープンデータの整備とデータ利活用の推進	⑪その他(総合的なもの、左記に属さない取組等)
20	学校徴収金システム	○										
21	ビジネスチャットツール											○
22	クラウド型被災者支援システム	○		○								
23	戸籍コンビニ交付サービス	○		○								
24	防災放送アプリ		○									

R6行革取組一覧表

重点項目2:サービスを低下させない働き方改革の推進

No.	取組名	R6取組内容	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
1	組織の改廃	市内にある貴重な文化財を地域・観光振興の核と位置づけ、今まで以上に地域づくり・観光まちづくりに積極的に生かしていく検討を進めるため、教育委員会事務局が所管している文化財課を市長部局へ移管し、経済観光部に文化財課を設置した。 ねんりんピックなどのイベントに対応するため、職員配置を見直し、観光交流課の増員を行った。	職員課	0	0
2	時間外勤務縮減に向けた業務改善等報告	時間外勤務が多かった所属に対し業務改善計画の提出を義務づけ、ノー残業デーなど、これまでと同様の取組みを継続している。	職員課	0	0
3	第2次倉吉市特定事業主行動計画アンケート調査	7月にアンケート調査を実施。調査結果を労働組合と共有し、今後の取組みについて検討、協議を行った。	職員課	0	0
4	職員フォローアップ面談	フォローアップ面談を8月に実施した。異動者、新規採用者を中心に業務の状況や個別の状況を把握し、必要に応じて対応を行うことで、各職員の能力を十分に発揮できる労務環境の整備を図ることができた。	職員課	0	0
5	各種研修	中央研修(市町村職員中央研修所、国際文化研修所)の研修受講を職員に呼びかけ、住民ニーズを把握し施策につなげるための手法等の習得を含め、職員の職務能力の向上を図った。 【上半期実績】 中央研修(市町村職員中央研修所、国際文化研修所)3講座/階層別研修 10講座/能力開発向上研修 16講座/新規採用職員研修/新任課長級研修/会計年度任用職員研修/接遇研修/新ホームページCMS「i-SITE PORTAL」研修/Word・Excel研修/人事評価評価者研修 【下半期実績】 中央研修(市町村職員中央研修所、国際文化研修所)7講座/階層別研修 4講座/能力開発向上研修 9講座/管理職研修/主任級昇任前研修/税務研修/メンタルヘルス研修(セルフケア・ラインケア)/情報セキュリティ研修/交通安全研修/キャリアデザイン研修/接遇研修/人権研修	職員課	6,790	5,236
6	人材の確保	令和5年度まで、7月に行う試験を6月に募集開始していたが、令和6年度は試験を6月に実施し、募集時期も4月に前倒した。 ホームページ、LINE、Xを活用して募集案内を行った。また、専門職については、応募者数が少ないため、直接、地元の学校に試験の案内を行っている。 令和6年度から、正職員同様、会計年度任用職員についても、とっとり電子申請システムを利用した受験申込を可能とした。	職員課	0	0

R6行革取組一覧表

重点項目2: サービスを低下させない働き方改革の推進

No.	取組名	R6取組内容	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
7	人事評価システム	人事評価システムの運用を開始した。システムにより効率的に人事評価を行うことで、作業時間・時間外勤務が削減された。またシステム機能により公平で客観的な人事評価を行うとともに、アンケート等の実施に活用することができた。	職員課	1,558	1,558
8	市長・副市長とはなししよいや(市役所若手職員編)	倉吉市職員(主事級)14名と市長とで意見交換を行った。より良い職場づくりに向け、業務や職場環境、組織体制等について様々な意見や提案を聞くことができた。	企画課	0	0
9	職員満足度調査	職員を対象に、令和7年1月に人事評価システムを利用して職員満足度調査を実施。今後、調査結果を分析し、職場環境の改善やモチベーションの向上につなげる。	職員課	0	0
10	ハラスメント防止条例の制定	市の職場からハラスメントをなくすことで職場環境をよりよくするため、職員、指定管理及び業務委託等の市に関係する事業に従事する人が、ほかの職員や市長等の特別職または議員等からハラスメントを受けた場合、市に申し出ることができるよう定めた。	職員課	25	0

R6行革取組一覧表

重点項目2:サービスを低下させない働き方改革の推進

No.	取組名	①職員満足度等を把握するための定期的な職員意識調査	②住民ニーズを敏感に感じ取り政策につなげる力を育成するための研修の実施	③テレワーク環境の整備と実施推進	④休暇制度を活用して地域貢献、育児、自己研鑽などのワーク・ライフ・バランスの向上	⑤失敗を恐れない職場風土の醸成・チャレンジ精神向上のための人事の実施	⑥能力等に応じた業務の配分や適切な人事評価・福利厚生による職員満足度(E S)の向上	⑦適切な業務の把握による人員配置の最適化	⑧職員の資質(マインド)と能力(スキル)の向上を図るための研修の実施	⑨職員の希望に応じたフレックスタイム制度の導入と推進	⑩BPR(業務プロセス)の抜本的な見直しの取組の徹底による生産性の向上・総労働時間の削減	⑪その他(総合的な取組、左記に属さない取組等)
1	組織の改廃							○				
2	時間外勤務縮減に向けた業務改善等報告				○			○			○	
3	第2次倉吉市特定事業主行動計画アンケート調査	○										
4	職員フォローアップ面談							○				○
5	各種研修		○						○			
6	人材の確保							○				

R6行革取組一覧表

重点項目2:サービスを低下させない働き方改革の推進

No.	取組名	①職員満足度等を把握するための定期的な職員意識調査	②住民ニーズを敏感に感じ取り政策につなげる力を育成するための研修の実施	③テレワーク環境の整備と実施推進	④休暇制度を活用して地域貢献、育児、自己研鑽などのワーク・ライフ・バランスの向上	⑤失敗を恐れない職場風土の醸成・チャレンジ精神向上のための人事の実施	⑥能力等に応じた業務の配分や適切な人事評価・福利厚生による職員満足度(E S)の向上	⑦適切な業務の把握による人員配置の最適化	⑧職員の資質(マインド)と能力(スキル)の向上を図るための研修の実施	⑨職員の希望に応じたフレックスタイム制度の導入と推進	⑩BPR(業務プロセス)の抜本的な見直しによる取組の徹底による生産性の向上・総労働時間の削減	⑪その他(総合的な取組、左記に属さない取組等)
7	人事評価システム						○		○			
8	市長・副市長とはなししよいや(市役所若手職員編)											○
9	職員満足度調査	○										
10	ハラスメント防止条例の制定											○

R6行革取組一覧表

重点項目3:公共施設の最適化

No.	取組名	R6取組内容	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
1	倉吉市公共施設等個別施設計画等に係る進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の廃止に当たって、市民等の意見・要望を伺うために「公共施設の用途廃止に伴う標準的な事務手続」を作成し、全庁的な取組を促進。 ・公共施設等のLED照明の切替状況調査実施(一般照明用蛍光灯ランプの製造・輸出入が令和9年までに段階的に廃止されることに伴い、各施設のLED照明の切替状況について全庁的な調査を実施し、今後、未済施設の年次更新を行っていく) 	総務課	0	0
2	公立保育所の統廃合	<ul style="list-style-type: none"> ・市内西部地域に点在する公立保育所の統廃合、保育機能を集約し、新たな保育施設を整備する。 【対象施設】3施設(北谷、高城、社保育園) 【取組の概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計業務を実施し、現場の意見を参考にした配置計画、施設機能を検討。 ・保護者、地域への説明、意見交換を実施。 ・R6.12月議会に関連予算を提案するも否決。 	子ども家庭課	9,555	8,987
3	公立児童館のあり方検討	<ul style="list-style-type: none"> 公立児童館・児童センターの機能集約、統廃合の検討 ・施設数 7施設 ・小学校区単位で複数所在する児童館を中心として、施設の老朽度合い、利用率、機能等を勘察し、在り方の検討。 ・複合施設については、関係所管と協調し、地元譲渡を含めて地域、団体との協議を行う。 	子ども家庭課	0	0
4	観光施設維持管理事業(関金地区) (せきがね湯命館及び関金都市交流センター)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改修時期を迎えているせきがね湯命館及び関金都市交流センターについて、当然に老朽化に伴う大規模改修を行うのではなく、地域における施設の必要性、今後求められる機能、適正規模、役割といった施設のあり方を検討し、そのうえで必要となる改修整備を行う。 ・あり方基本計画(構想)の協議・策定(令和6年4~6月) 	観光交流課	6,604	6,193
5	倉吉市営温水プールヒートポンプ取替	<ul style="list-style-type: none"> 【R5→R6繰越事業】 倉吉市営温水プールのヒートポンプの取替を行った。 ※消費電力を抑えることにより、コスト削減を図るもの。 	社会教育課	104,860	99,337
6	人権文化センター玄関庇改修	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市人権文化センターの玄関庇改修工事(老朽化による軒裏仕上げ材再吹付及び上部防水塗装) ※人権文化センターと中央児童館の事業費按分。 	人権政策課 子ども家庭課	3,894	2,594

R6行革取組一覧表

重点項目3:公共施設の最適化

No.	取組名	R6取組内容	担当課	R6予算額 (単位:千円)	R6決算額 (単位:千円)
7	簡易宿泊施設「湯楽里」廃止	R6.3.31付けで条例上廃止。R6.6月解体。 令和7年度に新設する、倉吉市せきがね温泉宿泊施設に機能を統合し、サービスの集約化により経費を削減した。	観光交流課	35,089	35,089
8	伯耆しあわせの郷キュービクル更新	キュービクルの更新を行った。 (受電盤高圧機器、進相コンデンサ及び変圧器等の修繕を行い、施設機能の維持を図るもの)	長寿社会課	19,382	18,370
9	西中学校体育館西側軒樋改修	西中学校体育館西側軒樋の改修工事	教育総務課	6,152	5,544
10	中学校LED照明器具設置	学校施設の省エネルギー推進、環境改善のため校舎等照明器具のLED化 対象施設:中学校5校(東・西・河北・久米・鴨川)	教育総務課	164,097	149,773
11	パークスクエア通路建屋改修	竣工から24年が経過した倉吉パークスクエア通路建屋について、倉吉市教育施設等長寿命化計画に基づき長寿命化を図るための改修工事を行った。	図書館	34,248	26,853
12	倉吉交流プラザ外壁改修	・令和7年3月の鳥取県立美術館開館に合わせて、倉吉交流プラザの外壁改修工事を行った。 ・また、県立美術館開館により交流の増加が見込めるため、安心して利用いただけるよう、老朽化部分の長寿命化を計画的に進めた。	図書館	62,604	62,202
13	パークスクエア照明設備LED化改修	脱炭素化の推進と施設の維持費を軽減するため、パークスクエア(交流プラザ以東)の照明設備をLED照明へ改修した。	図書館	96,178	57,631
14	博物館高架水槽取替	老朽化した博物館の高架水槽を取替え。 容量6トンから1トンにサイズダウンし建物への加重負荷は軽減。	博物館	7,937	7,557
15	大御堂廃寺跡といれ洋式化	令和7年3月に県立美術館が開館することに伴い、和式トイレの洋式化を行った。	文化財課	572	572
16	学校給食センターエアーカーテン改修	学校給食センター洗浄室のエアーカーテンの改修を行う。 ※R7.5月までは改修工事設計業務、R7夏休み期間中に工事を行う。	学校給食センター	297	R7へ繰越

R6行革取組一覧表

重点項目3:公共施設の最適化

No.	取組名	①集約化・複合化による公共施設の総量の抑制	②施設の計画的改修によるライフサイクルコストの削減	③施設毎の稼働率の向上、既存施設の有効活用、受益者負担の適正化	④民間活力(PPP/PFI)の活用による市民サービスの向上と支出の削減	⑤その他(総合的な取組、左記に属さない取組等)
1	倉吉市公共施設等個別施設計画等に係る進捗管理	○	○			○
2	公立保育所の統廃合	○				
3	公立児童館のあり方検討	○				
4	観光施設維持管理事業(関金地区) (せきがね湯命館及び関金都市交流センター)	○	○	○	○	
5	倉吉市営温水プールヒートポンプ取替		○			
6	人権文化センター玄関庇改修		○			

R6行革取組一覧表

重点項目3:公共施設の最適化

No.	取組名	①集約化・複合化による公共施設の総量の抑制	②施設の計画的改修によるライフサイクルコストの削減	③施設毎の稼働率の向上、既存施設の有効活用、受益者負担の適正化	④民間活力(PPP/PFI)の活用による市民サービスの向上と支出の削減	⑤その他(総合的な取組、左記に属さない取組等)
7	簡易宿泊施設「湯楽里」廃止	○				
8	伯耆しあわせの郷キュービクル更新		○			
9	西中学校体育館西側軒樋改修		○			
10	中学校LED照明器具設置		○			
11	パークスクエア通路建屋改修		○			
12	倉吉交流プラザ外壁改修		○			
13	パークスクエア照明設備LED化改修		○			
14	博物館高架水槽取替		○			
15	大御堂廃寺跡といれ洋式化		○			
16	学校給食センターエアーカーテン改修		○			